

**新型コロナウイルス対応緊急支援助成
事業計画（実行団体）**

事業名(主)	食を通じた地域の支え合いの仕組みづくり
事業名(副) <small>※任意</small>	

入力数 主 19 字 副 0 字

実行団体名	特定非営利活動法人 フードバンク香川
資金分配団体名	一般社団法人全国食支援活動協会

優先的に解決すべき社会の諸課題

領域	分野
<input checked="" type="checkbox"/> 1) 子ども及び若者の支援に係る活動	<input checked="" type="checkbox"/> ①経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援
	<input type="checkbox"/> ②日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援
	<input type="checkbox"/> ③社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援
<input checked="" type="checkbox"/> 2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動	<input type="checkbox"/> ④働くことが困難な人への支援
	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤社会的孤立や差別の解消に向けた支援
<input checked="" type="checkbox"/> 3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動	<input type="checkbox"/> ⑥地域の働く場づくりの支援
	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援

上記以外 その他の解決すべき社会の課題	<input type="checkbox"/>
------------------------	--------------------------

入力数 0 字

SDGsとの関連

ゴール
_1.貧困をなくそう
_2.飢餓をゼロに
_3.すべての人に健康と福祉を
_12.つくる責任つかう責任

実施時期	2021/6/1 ~ 2022/2/1	事業対象地域	全国 <input type="checkbox"/> 特定地域 <input checked="" type="checkbox"/> (香川県)	事業対象者： (事業で直接介入する対象者と、その他最終受益者を含む)	社会福祉協議会や母子生活支援施設をはじめ、生活困窮者や子育て支援団体等を通じて、社会的孤立や経済的困窮の理由等により生活のしづらさを抱える人・世帯 フードロス対策や地域貢献活動に取組む企業や家庭	事業対象者人数	17市町×5回×12月≒1000名(累計)
------	---------------------	--------	---------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------	-----------------------

I.団体の社会的役割

(1)団体の目的 (200字以内)
地域福祉や環境保全、教育等の社会的な課題に取り組む団体、食品生産、製造・加工等に携わる団体及び食品流通等に関わる団体又は個人等と連携して、これまで無駄となっていた「食品」を媒介として、地域における人と人のつながりを創造するフードバンク活動を推進することにより、地域共生社会の実現をめざす。
(2)団体の概要・事業内容等 (200字以内)
・フードバンク活動推進事業 ・フードバンク食品配布事業 ・フードバンクの普及及び啓発事業 ・フードバンクの促進に関わる調査・研究事業 ・その他目的達成に必要な事業

入力数 (1) 144 字 (2) 81 字

II.事業の背景・社会課題

新型コロナウイルス感染症により深刻化した社会課題 (800字以内)
新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、失業や休業などで経済的に困窮する人の急増や社会的孤立の深刻化、自粛生活等による心身の不安・不調など新たな地域生活課題が顕在化している。 市町の社会福祉協議会や各支援団体と連携し、緊急的な食糧支援に取組むとともに、食糧支援を切り口に生活再建をめざし、総合相談支援に取組む必要がある。

入力数 161 字

III.事業内容

<p>(1)事業の概要</p> <p>社会福祉施設や社会福祉協議会に冷凍冷蔵庫を設置し、フードバンク拠点を増やすことで、企業や住民が気軽に寄付できる身近なフードバンク活動を促進する。また、運送会社やタクシー会社の地域貢献の取組みと連携し、食糧を速やかに県内各所へ配送するルートを確保する。</p> <p>また、社会福祉協議会や母子生活支援施設、ひとり親支援団体等へ食糧提供を行い、支援のツールとして活用していただくことを通じて、社会的孤立や経済的困窮によるしずらさを抱える人・世帯の早期発見や生活再建に向けた支援に取組む。</p> <p>県社会福祉協議会（当団体事務局）と連携し、住民や社会福祉法人施設、企業等にフードバンク活動の広報啓発に取組む。</p>

入力数 291 字

<p>(2)事業実施後（1年後）以降に目標とする状態</p> <p>フードバンクへの寄付を増やす（R2年度実績：137か所（82団体・55個人）から15.5tの寄付）</p> <p>フードバンクの寄付や配送に協力してくださる人や企業・団体を増やす。</p> <p>人手や費用が課題となっている食糧配送のルートの整備。</p>

入力数 110 字

(3)今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）	実施・到達状況の目安とする指標	把握方法	目標値/目標状態	目標達成時期
<ul style="list-style-type: none"> ・フードバンク活動の住民や企業・団体への浸透。 ・琴平町社会福祉協議会と母子生活支援施設と関連のある障害者支援施設にフードバンク拠点（冷凍冷蔵庫）を設置し、県内における食糧の受配体制を整備。 ・ボランティアや運送会社、タクシー会社の地域貢献活動の協力による配送ルートの確保。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報・啓発（チラシ配布やフードドライブの実施） ・取扱い食糧の量 ・協力者、企業・団体の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシ配布枚数 ・フードドライブ実施団体の把握 ・食糧受渡の記録 ・協力企業・団体の登録 	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシ1,000枚配布 ・取扱い食糧昨年度120%（164か所、18.6t） ・定期的にご寄付いただける個人や企業団体の増加 ・ネットワークによる配送ルートの確保 	令和4年2月

(4)活動	時期
<ul style="list-style-type: none"> ・フードバンク活動について、県社協にある多様なネットワーク（子ども支援や生活困窮、災害、社会福祉施設）や企業、住民へ周知、寄付や活動への協力を促進する。 ・県内の17市町社会福祉協議会や母子生活支援施設・障害者支援施設を拠点として、ネットワークによる食糧の受渡の体制を整備する。 ・企業やボランティアの協力によるフードバンク配送ルートを整備する。 	令和3年6月～令和4年2月

IV.事業実施体制

<p>(1)メンバー構成と各メンバーの役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市町社会福祉協議会及び母子生活支援施設・障害者支援施設は食糧受渡しの拠点になる。 ・住民や企業へのフードバンク活動への理解を促進し、寄付やボランティア協力を得る。
<p>(2)他団体との連携体制</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市町社会福祉協議会や社会福祉法人施設、行政担当課、生活困窮や子ども・子育て支援団体と連携し、支援を必要としている人・世帯への食糧支援等を実施する。 ・企業や個人へフードバンク活動を周知し、食糧提供の協力を呼びかける。
<p>(3)想定されるリスクと管理体制</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染予防対策を講じる。 ・分配した食品等が適切に管理されないことで、食中毒や転売等の事故発生が想定される。食品衛生や寄付物品管理への意識向上を図る。また、万が一に備え、契約締結や保険加入を検討する。